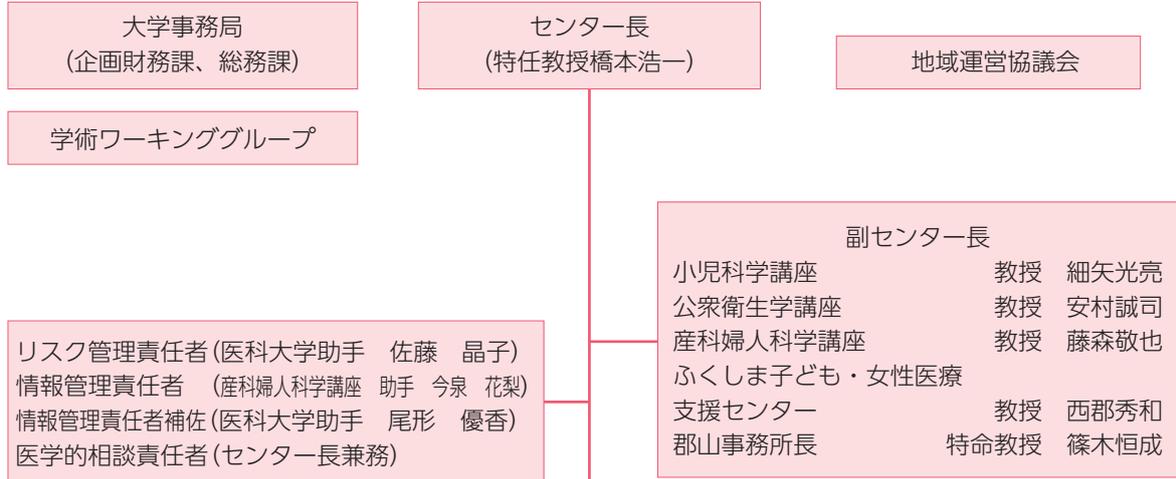


5 資料編

令和4年度福島ユニットセンター組織図

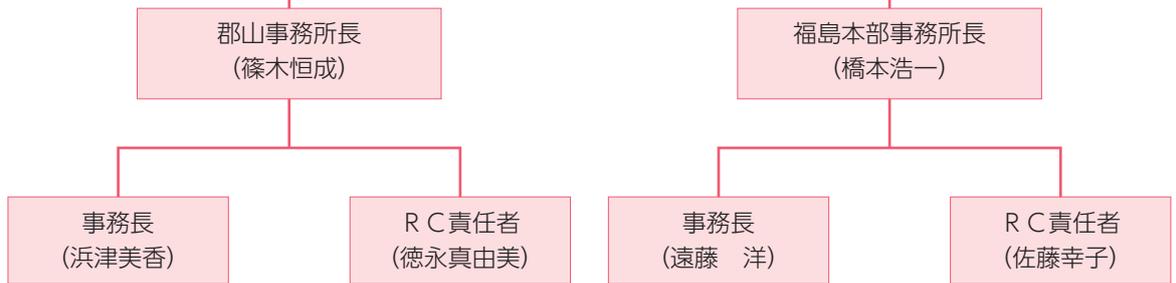
(令和5年3月31日現在)

福島県立医科大学



郡山事務所

福島本部事務所



【担当地域】
 県中地域、県南地域
 いわき地域、会津地域

【担当地域】
 県北地域、相双地域

※事務局職員数41名(事務20名RC21名)

- ・ 福島本部事務所20名(事務10名RC10名)
- ・ 郡山事務所21名(事務10名RC11名)

エコチル調査福島ユニットセンターの沿革

平成 22.1.12 ~ 15	環境省、ユニットセンターを全国に公募
平成 22.3.1	環境省、「子供の健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）基本計画」を公表 コアセンター（独立行政法人国立環境研究所）、エコチル調査を開始
平成 22.4.12	環境省、本県を含む全国15ユニットを選定
平成 22.11	福島県立医科大学において福島ユニットセンターが本格稼働 （センター長：安村誠司、執務室：公衆衛生学講座研究室）
平成 23.1	RC職員を配置、エコチル調査の参加者登録（リクルート）開始 調査対象地区は、福島市、南相馬市、双葉郡の計10市町村
平成 23.3.11 ~	東日本大震災と東京電力福島第1原子力発電所事故の発生
平成 23.4.19	調査地区拡大（伊達市、伊達郡3町）に関するコアセンターヒアリング
平成 23.5.9	コアセンター運営委員会、調査地区拡大について承認
平成 23.5	福島本部事務所を 10 号館 5 階（旧カルテ庫）に整備
平成 23.6.7	伊達市及び伊達郡3町（桑折町、国見町、川俣町）のリクルート開始
平成 24.4	調査対象地域拡大等のため職員を増員（事務8人、RC6人）
平成 24.5.1	福島市内に新町オフィスを開設
平成 24.6	本県の調査対象地域を県内全域に拡大することを決定 （環境省の予算的、人的サポートのほか国の主体的活動、各種支援業務の実施が前提）
平成 24.7	橋本浩一センター長の体制に移行
平成 24.8	副センター長兼郡山事務所長（環境省より出向）、次長兼郡山事務所事務長（郡山市 OB）を配置
平成 24.9	郡山事務所を開所し、その支所を白河市、会津若松市、いわき市に設置
平成 24.9.4	10 月からのエコチル調査全県化について記者発表
平成 24.10	調査対象地域を県内全59市町村に拡大、リクルート開始 職員を増員（平成 25 年度の人員体制：職員約60人、派遣職員約10人）
平成 25.6	事務局長兼福島本部事務所事務長（福島県 OB）を配置
平成 25.10	次長兼会計責任者（福島市 OB）、郡山事務所 RC 責任者を配置
平成 26.3	参加者登録（リクルート）の終了 参加者例として電子マネー（nanaco）を導入
平成 26.10	詳細調査のリクルート開始
平成 26.11	詳細調査のうち訪問調査（生活環境調査）を開始
平成 26.12	11 月末で郡山事務所の3支所を廃止、協力医療機関における常駐業務も終了 これに伴い郡山事務所の職員数を縮減（平成 26 年度末は本部事務所と合せ職員 39 人）
平成 27.4	詳細調査のうち医学的検査・精神神経発達検査を開始 大学事務局（企画財務課）から職員を配置
平成 27.10	プロジェクト教員を配置
平成 29.1.30	1 月 29 日で新町オフィスを閉鎖し、現在の場所に業務を集約
平成 31.4	全体調査のうち学童期検査（小学校2年生対象）を開始
令和 2.2	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、対面調査を中止 （再開：学童期検査 8 月、詳細調査 9 月、その後も感染状況を踏まえ弾力的に対応）
令和 3.6	令和3年福島県沖地震で被災した郡山事務所を移転
令和 4.7	参加者が 18 歳に達する令和 14（2032）年度までユニットセンターの設置・運営の継続を決定
令和 5.3	環境省、基本計画を改訂し、13 歳以降の調査継続が決定

エコチル調査協力医療機関・施設一覧

(令和5年3月31日現在)

1) 協力医療機関 (リクルート・妊娠・出産・出産後 1 か月調査)

	エリア	協力医療機関名	所在地	担当	
1	県北	日本赤十字社 福島赤十字病院	福島市	福島本部 事務所	
2		医療法人 明治病院	福島市		
3		医療法人 いちかわクリニック	福島市		
4		医療法人 ささや産婦人科	福島市		
5		(医)ABCクリニック 新妻産婦人科	福島市		
6		本田クリニック産科婦人科	福島市		
7		済生会福島総合病院	福島市		
8		一般財団法人大原記念財団 大原総合病院	福島市		
9		公立大学法人 福島県立医科大学附属病院	福島市		
10		大川レディースクリニック	福島市		
11		菅野産婦人科医院	福島市		
12		セイントクリニック	伊達市		閉院
13		二本松ウイメンズクリニック	二本松市		
14		社会保険福島 二本松病院(現:JCHO二本松病院)	二本松市		平成25年3月31日終了
15		渡辺医院	二本松市		
16		医療法人 慈久会 谷病院	本宮市		
17	県中	たなかレディースクリニック	郡山市	郡山 事務所	
18		医療法人 岡崎産婦人科 (現:岡崎バースクリニック)	郡山市		
19		公益財団法人湯浅報恩会 寿泉堂総合病院	郡山市		
20		塚原産婦人科内科外科医院	郡山市		
21		トータルヘルスクリニック	郡山市		
22		一般財団法人太田総合病院附属 太田西ノ内病院	郡山市		
23		公益財団法人 星総合病院	郡山市		
24		一般財団法人脳神経疾患研究所附属 総合南東北病院	郡山市		
25		古川産婦人科医院	郡山市		
26		独立行政法人国立病院機構 福島病院	須賀川市		
27		小森山産婦人科医院	須賀川市		閉院
28	県南	片倉医院産科婦人科	白河市	福島本部 事務所	
29		福島厚生連 白河厚生総合病院	白河市		
30		福島県厚生農業協同組合連合会 塙厚生病院	東白川郡		
31		岩佐医院	茨城県久慈郡		福島県民のみリクルート
32	会津	舟田クリニック産科婦人科	会津若松市	福島本部 事務所	
33		一般財団法人竹田健康財団 竹田総合病院	会津若松市		
34		一般財団法人温知会 会津中央病院	会津若松市		
35		JA 福島厚生連 坂下厚生病院	河沼郡		
36	相双	医療法人 あらき産婦人科クリニック	相馬市	福島本部 事務所	
37		南相馬市立総合病院	南相馬市		
38		レディースクリニックはらまち	南相馬市		
39		西潤マタニティクリニック	南相馬市		
40		原町中央産婦人科 (現:南相馬中央医院)	南相馬市		
41		医療法人社団青空会 大町病院	南相馬市		
42		双葉厚生病院	福島市飯坂		
43		今村クリニック	双葉郡浪江町		
44		公立相馬総合病院	相馬市		新生児搬送時の検体採取のみ
45	いわき	医療法人栄真会 村岡産婦人科医院	いわき市	郡山 事務所	
46		渡辺産科婦人科	いわき市		
47		かたよせクリニック産科・婦人科 (現:医療法人かたよせウイメンズクリニック)	いわき市		
48		NOBU マタニティクリニック	いわき市		転院による検体採取のみ
49		いわき市立総合磐城共立病院 (現:いわき市医療センター)	いわき市		
50		森田泌尿器科産婦人科医院 (現:森田泌尿器科医院)	いわき市		
51		つくだ町産婦人科医院	いわき市		
52		月川レディースクリニック	いわき市		
53		佐藤マタニティー・クリニック	いわき市		

2) 詳細調査協力医療機関および協力施設 ■は令和4年度協力医療機関

エリア	協力医療機関名	所在地	担当
■	1 公立大学法人 福島県立医科大学附属病院	福島市	福島本部 事務所
	2 一般財団法人 大原記念財団 大原総合病院	福島市	
	3 公立藤田総合病院	国見町	
	4 医療法人 いそめこどもクリニック	福島市	
	5 医療法人 いちかわクリニック	福島市	
	6 医療法人 おひさま子供クリニック	福島市	
	7 医療法人 竹内こどもクリニック	福島市	
	8 医療法人 武田小児科	伊達市	
	9 土川内科小児科	二本松市	
■	10 公立相馬総合病院	相馬市	福島本部 事務所
	11 医療法人 彗星会 菜のはなこどもクリニック	相馬市	
■	12 一般財団法人 太田総合病院附属 太田西ノ内病院	郡山市	郡山 事務所
	13 公益財団法人 星総合病院	郡山市	
	14 独立行政法人 国立病院機構 福島病院	須賀川市	
	15 医療法人 はぐくみ いいもり子ども医院	郡山市	
	16 医療法人 健生会 おおがクリニック	郡山市	
	17 医療法人 おおのこどもクリニック	郡山市	
	18 医療法人 かわなこどもクリニック	郡山市	
	19 医療法人 仁寿会 菊池医院	郡山市	
	20 医療法人 久米こどもクリニック	郡山市	
	21 医療法人 永徳会 さかい小児科クリニック	郡山市	
	22 医療法人 喜信会 じんキッズクリニック	郡山市	
	23 医療法人 宣誠会 すみこしこどもクリニック	郡山市	
	■	24 福島県厚生農業協同組合連合会 白河厚生総合病院	
25 医療法人 健恵会 ねもとキッズクリニック		白河市	
26 医療法人 わたなべ子どもクリニック		白河市	
■	27 一般財団法人 竹田健康財団 竹田総合病院	会津若松市	郡山 事務所
	28 福島県厚生農業協同組合連合会 坂下厚生総合病院	河沼郡	
	29 医療法人 いたう子どもクリニック	会津若松市	
	30 医療法人 清信会 やまみこどもクリニック	会津若松市	
■	31 福島県立南会津病院	南会津郡	郡山 事務所
32	いわき市医療センター	いわき市	
33	子どもの家	いわき市	
34	第二子どもの家M・A・Y	いわき市	
35	あおぞらキッズクリニック	いわき市	
36	医療法人 森のこどもクリニック	いわき市	

3) 疾患情報登録協力医療機関 ■は令和4年度協力医療機関

エリア	協力医療機関名	所在地	担当
1	一般財団法人 大原記念財団 大原総合病院	福島市	福島本部 事務所
2	公立大学法人 福島県立医科大学附属病院	福島市	
3	福島医療生活協同組合 医療生協わたり病院	福島市	
4	日本赤十字社 福島赤十字病院	福島市	
5	医療法人 湖山荘 あずま通りクリニック	福島市	
6	医療法人 慶愛会 文化通りやぎうちクリニック	福島市	
7	福島県中央児童相談所	福島市	
8	医療法人 いそめこどもクリニック	福島市	
9	いがらしキッズクリニック	福島市	
10	ほりこし心身クリニック	福島市	
11	すえなが内科小児科医院	福島市	
12	公立藤田総合病院	国見町	
13	こばやし子ども・内科クリニック	伊達市	
14	医療法人 湖山荘 福島松ヶ丘病院	伊達市	
15	医療法人 クラブトン 佐久間内科小児科医院	二本松市	
16	森小児科医院	二本松市	
17	医療法人 落合会 東北病院	本宮市	
18	すぎやまこどもクリニック	相馬市	
19	公立相馬総合病院	相馬市	
20	公益財団法人 金森和心会 雲雀ヶ丘病院	南相馬市	
21	ほりメンタルクリニック	南相馬市	
22	公益財団法人 星総合病院	郡山市	郡山 事務所
23	公益財団法人 星総合病院 星ヶ丘病院	郡山市	
24	福島県総合療育センター	郡山市	
25	公益財団法人 金森和心会 針生ヶ丘病院	郡山市	
26	一般財団法人 太田総合病院附属 太田西ノ内病院	郡山市	
27	医療法人 稔聖会 こおりやまほっとクリニック	郡山市	
28	医療法人 慈圭会 すがのクリニック	郡山市	
29	社会医療法人 あさかホスピタル	郡山市	
30	公益財団法人 湯浅報恩会 寿泉堂総合病院	郡山市	
31	一般財団法人 太田総合病院附属 太田熱海病院	郡山市	
32	一般財団法人 脳神経疾患研究所附属 総合南東北病院	郡山市	
33	南東北医療クリニック	郡山市	
34	わんぱくさいとうこども医院	郡山市	
35	医療法人 明信会 今泉西病院	郡山市	
36	公立岩瀬病院	須賀川市	
37	独立行政法人 国立病院機構 福島病院	須賀川市	
38	福島県厚生農業協同組合連合会 白河厚生総合病院	白河市	
39	県立矢吹病院	矢吹町	
40	公立大学法人 福島県立医科大学 会津医療センター	会津若松市	福島本部 事務所
41	一般財団法人 竹田健康財団 竹田総合病院	会津若松市	
42	医療法人 明精会 会津西病院	会津若松市	
43	一般財団法人 温知会 会津西中央病院	会津若松市	
44	医療法人 昨雲会 飯塚病院	喜多方市	
45	公益財団法人 磐城済世会 舞子浜病院	いわき市	
46	いわき市医療センター	いわき市	
47	おおはらこどもクリニック	いわき市	
48	公立昭和病院	東京都	福島本部 事務所
49	生育医療研究センター	東京都	
50	順天堂大学医学部附属 練馬病院	東京都	
51	東京北医療センター	東京都	
52	山形大学医学部附属病院	山形県	
53	茨城県立こども病院	茨城県	
54	自治医科大学附属病院	栃木県	
55	新潟県立中央病院	新潟市	
56	仙台医療センター	宮城県	
57	仙台赤十字病院	宮城県	
58	東北大学病院	宮城県	
59	宮城県立こども病院	宮城県	

エコチル調査に係る業務全般に関する PDCA サイクルにおける取組状況 (令和 4 年 4 月～令和 4 年 9 月末時点)

調査実施機関名：福島ユニットセンター

評価時点	令和 4 年 10 月 26 日
回答者	氏名 (橋本 浩一) 役職 (福島ユニットセンター長)

ア. 参加者の調査参加へのモチベーション維持や質問票回収率の維持・向上の取組	
(P) 計画 (D) 実施	<p>従来の取組に加え、第 2 期調査に向け参加児とのコミュニケーションの機会を増やし、深めることにより、子ども達のエコチル調査に対するポジティブな参加意識の形成を目指した。</p> <p>計画1 参加者の調査参加へのモチベーション維持</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">指標 現参加者の減少を年 1%以内とどめることができる</p> <p>取組 1-1 ふれあい会 (参加者対象イベント) の開催 (オンライン)</p> <p>コロナ禍が長引く中、今年度も継続して<u>地域の高校や学習施設と協同したオンライン・イベントを企画した。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「科学実験」動画配信 (実施済) / 夏休み期間配信 / 高校スーパーサイエンス部生徒の協力により参加児の科学への興味が高まるよう、5 本の動画を作成し、配信した (図 1)。それぞれの年齢、興味に対応し、家庭で身近にある物を使ってできるよう工夫した。 ■ 「歴史探検 勾玉づくり体験」動画配信 (準備中) / 冬休みより配信予定 / 昨年「ミニはにわづくり」は好評につき、<u>参加児の歴史への興味が高まるよう、県文化財センター白河館の協力によるの動画の配信を計画、準備した。</u> <p>取組 1-2 エコチル★ふくしま環境セミナーの開催 (オンライン)</p> <p><u>参加者親子と環境課題を学び合う機会</u>として、今年度は、アクアマリンふくしまの協力により、「海洋ごみ」をテーマとしてオンライン開催し、後日、セミナー録画動画を配信することとし、準備を進めた。</p> <p>取組 1-3 参加児宛子どもアンケート回答お礼ハガキ送付</p> <p>子どもとのコミュニケーションの機会の拡大として、アンケート回答に<u>感謝の気持ちを伝える</u>参加児宛にお礼メッセージ (ハガキ (図 2)) を送付した。</p> <p>計画2 質問票返送率の維持・向上</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">指標 県内全域での対面調査実施と並行して、質問票業務を計画通り実施し、返送率を現状維持・向上することができる</p> <p>取組 2-1 返送依頼方法の工夫 (年齢質問票)</p> <p><u>発送後 1 か月以内の返送数が増えるよう、返送依頼時期を早めた。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 1 回目及び2回目「ショートメール発信」 / 発送後 3 週目、7 週目から、2 週目、5 週目に変更し、1 回目依頼文を発送案内及び到着を確認する内容に修正した。 ■ 3 回目「質問票再送」 / 発送後 10 週目から 9 週目に変更 <p>取組 2-2 対面調査時 (詳細調査・学童期検査) の質問票記入依頼</p> <p>事前に対面調査協力予定者の質問票提出状況を確認、会場で未提出の方に記入依頼し、対象となった方全員から提出いただいた。</p>

	<p>取組 2-3 質問票郵送用封筒のリニューアル 質問票受領時開封につながることを期待し、お子さまにも封筒に関心を持っていただけるデザインに変更した(図3)。 ■ 年齢質問票用裏面/参加児が遊べるデザイン(「こぼちる*」探し) ■ 学年質問票用裏面/宇宙をイメージしたデザイン</p> <p>取組 2-4 参加児間の調査認知拡大/「こぼちる」ハンカチ配付 参加児同士で同じオリジナルグッズ所持によりコミュニケーションが生まれ、参加意欲向上につながることを期待し、全参加児に実用的な「こぼちる」ハンカチ(図4)を学年質問票に同封して贈った。</p> <p>取組 2-5 型抜きポストカードによる学年質問票返送依頼 学年質問票返送依頼として、参加者の目に留まるようなインパクトのあるデザインとし、返送依頼のマンネリ化防止を目指す(図5)。</p>
(C) 評価	<p>計画1 参加者の調査参加へのモチベーション維持 <u>上半期実施分ほぼ達成</u> 「科学実験」<u>動画総閲覧数は1,000回以上</u>であった。アンケートでは、<u>9歳児の参加が最も多く</u>、約5割を占め、「牛乳からチーズをつくろう!」が高評価を得た。「家にあるものですぐに実験できた」「楽しみながら自由研究ができた」等、好評であった。 参加児宛子どもアンケート回答お礼ハガキ送付後、参加者から「子ども宛にハガキが届き、とても喜んでいました」等メッセージが寄せられた。 これらの取組は、参加児のモチベーション向上、さらには、保護者の参加意欲向上にも繋がったと考える。9月末時点の子ども現参加者数は11,958人、<u>現参加率(転出入調整)は、93.5%(前年度同月末から0.9%減少)</u>であり、目標を達成できた(表1)。</p> <p>計画2 質問票返送率の維持・向上 <u>上半期実施分一部達成、経過観察</u> 年齢質問票返送率を、生まれ年度ごとに比較した。8歳、9歳質問票を同時期と比べると、初回返戻率は低下しているものの、1回目返送依頼後は2%前後、2回目は8%前後返送率が向上した(図6)。 封筒やハンカチについて「封筒のこぼちる探すのが楽しかった」、「ハンカチ、気に入って毎日使ってます」など好意的な感想が寄せられた。</p>
(A) 改善	<p>計画1 参加者の調査参加へのモチベーション維持 令和5年2月開催予定の環境セミナー「海洋ごみと海の生物について」も、参加意欲が高まるよう引き続き準備を進め、アンケートによる参加者の評価を踏まえ、次年度計画に反映する。</p> <p>計画2 質問票返送率の維持・向上 質問票については、現時点では発送開始後6か月を経過していないため、評価を年度末時点で実施し、次年度計画に反映する。 型抜きポストカードによる返送依頼は、本年10月末から開始する。</p>

※こぼちる/福島を代表する民芸品、起き上がりこぼしをモチーフとし、子ども達の健やかな成長を願う想いを込めた福島ユニットセンター公式キャラクターの名前。

イ. 成果の社会還元の実践

「次世代の子どもが健やかに育つ環境の実現」(上位目標)に向け、エコチル調査は、化学物質対策の充実・強化等のため、成果を積極的に社会還元することを期待されている。

調査実施機関として着実な調査実施とともに、第2期に向け現時点のエコチル調査成果について参加者をはじめ、より広く社会へ還元することを目指した。

計画1 学術分野における成果の還元

指標 中心仮説を含む積極的な論文発表ができる

取組 1-1 | 全学の研究活動活性化を通じた学術論文発表促進

全学の学術成果発表促進のため学術ワーキンググループを設置した。全学部より広く研究者の参加を募るため、全教職員対象に一斉メールにてエコチル調査論文紹介を継続実施した。さらに、今年度は、全学部教授会及び附属病院部長会にてエコチル調査を周知した。

リスト掲載課題の論文文化支援のため定例勉強会開催(毎月)、執筆優先期間のリマインド、学内査読、研究相談等を実施した。

取組 1-2 | 学術の発展及び講演等教育活動を通じた人材育成への貢献

学位取得に向けた論文執筆活動及びその支援を実施した。また、エコチル調査の成果等(成果発表届出対象)を含む、学会発表5件、学会シンポジウム・研究会講演1件、教育講演(福島県母子保健指導者対象)1件を行った。

計画2 (参加者を含む) 県民の環境・健康への関心が高まる成果共有

指標 1) 環境・健康への関心へつながる取組を実施し、高い参加満足度(80%以上)を得る(2-1・2-2)
2) 県民にエコチル調査の成果を知っていただく機会を持つ

取組 2-1 | 研究成果還元資料の作成・配付

「エコチル調査からわかってきたこと エコチル★ふくしま版」は、小学校のお便りを参考に、簡潔に参加親子に研究成果を伝えることができるようA4用紙1枚両面で作成した。第2号(図7)を6月に作成し、学年質問票に同封して配付した。

「エコチル調査からわかってきたこと」(前回平成30年度発行した質問票回答集計結果をまとめた小冊子)を作成、配付予定である。

県民の皆さまに広く閲覧いただくため、ホームページに掲載する。

取組 2-2 | 参加児を含む県民の調査に対する認知度を高める動画配信

コロナ禍を考慮しつつ、参加児を含む県民のエコチル調査認知度を高めるため、応募した子ども達と以下の動画を作成、配信する(図8)。

- **第一部** / 地方テレビ局の夕方ワイド番組でゴミ拾い活動を続けるローカル・インフルエンサーと一緒にゴミ拾いを実践
- **第二部** / ユニットセンター長と環境と健康について学ぶ

取組 2-3 | 県民(一般)との成果の共有及び調査に対する理解の醸成

毎年出展していた自治体主催イベントはコロナ禍で多くは中止となっているが、地域健康イベント1件(11月)に出展予定である。

(P) 計画
(D) 実施

	<p>計画3 県内学校保健・教育分野との連携強化</p> <p>指標 学校保健・教育分野の地域運営協議会委員と、調査の円滑な実施や成果還元において連携が強化できる</p> <p>コロナ禍で訪問を2年間控えていたが、今年度は地域運営協議会委員（教育関係者）全員の所属先計15か所を訪問し、調査説明及び意見交換した（下記）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 調査実施／子どもアンケート余白部分書き込み時の対応、精神神経発達検査（10歳）相談体制構築等について意見交換 ■ 成果還元／訪問後、学校を通した子どもたちへのアプローチ強化を目指し、取組2-1小冊子に掲載する集計項目候補についてアンケートに協力いただき、項目選定に意見を反映
(C) 評価	<p>取組1 学術分野における成果の還元</p> <p>【ほぼ達成】 学術ワーキンググループ構成員として、<u>全学より14講座・センター等から68名を登録した。</u></p> <p>4月から10月末までにアクセプトされた論文は7編、J ECS-Group 回覧申請件数13件（うち中心仮説1件）であった。上半期論文発表数は昨年同時期と同様で、J ECS-Group 回覧数は増加した（図9）。</p> <p>取組2（参加者を含む）県民の環境・健康への関心が高まる成果共有</p> <p>【上半期実施済分ほぼ達成】 2-1 アンケートでは、記事について「満足／おおむね満足」との回答は84.6%で、80%以上を得た。その理由として「<u>協力が形となってみられてよい</u>」、「<u>役立つ研究がされていることを知り参加して良かったと感じた</u>」などの意見があった。</p> <p>2-2、2-3については、計画どおり準備、実施して評価する。</p> <p>取組3 県内学校保健・教育分野との連携強化</p> <p>【ほぼ達成】 上半期は地域運営協議会委員に広く協力いただいた。特に、小冊子集計項目は、教育関係者の関心の高い項目を選定できた。今後、小学校で掲載データの利用が期待される。</p>
(A) 改善	<p>取組1 学術分野における成果の還元</p> <p>J ECS-Group 未回覧課題に対する執筆支援を強化する、また、積極的に中心仮説課題執筆検討する。</p> <p>取組2（参加者を含む）県民の環境・健康への関心が高まる成果共有</p> <p>各事業評価アンケートを参考に、エコチル調査第2期に向けた効果的な広報、コミュニケーション計画を企画する。</p> <p>取組3 県内学校保健・教育分野との連携強化</p> <p>次年度は、学校教育現場で小冊子掲載データを活用していただけるよう、教育関係者への情報提供、成果共有計画を検討する。</p>

図1 「科学実験」動画



図2 参加児への子どもアンケート回答へのお礼メッセージハガキ



図3 リニューアルした質問票発送用封筒



図4 「こぼちる」ハンカチ



図2 返送依頼用「こぼちる」型抜きポストカード



表1 子ども現参加者数（令和3年9月末時点、令和4年9月末時点）

	転出	転入	本人死亡	代諾者消失	住所不明	その他	現参加者	現参加率 (転出入調整)
令和3年9月末時点	201	139	24	650	53	10	12,067	94.3%
令和4年9月末時点	220	143	24	733	61	10	11,958	93.5%

図6 生まれ年度ごと質問票返送依頼時期変更前後の年齢質問票返送率

令和4年10月25日時点

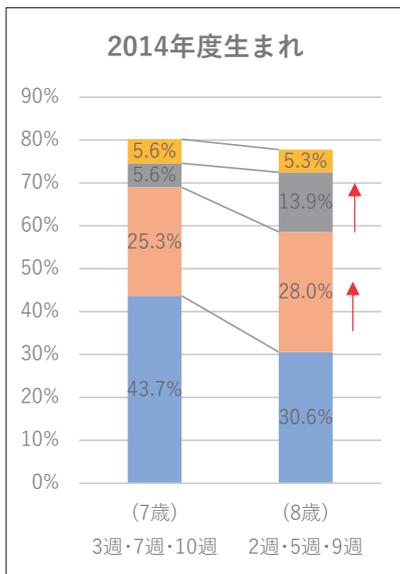
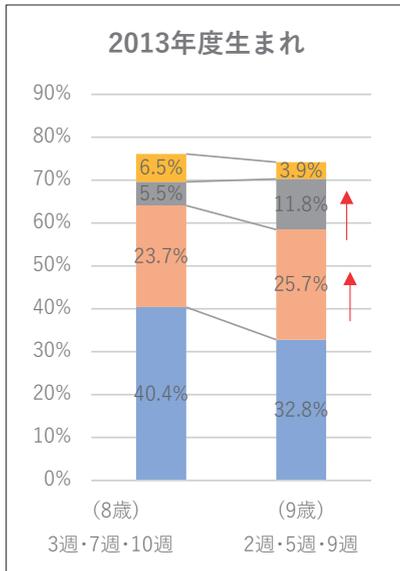


図7 エコチル調査からわかってきたこと エコチル★ふくしま版第2号

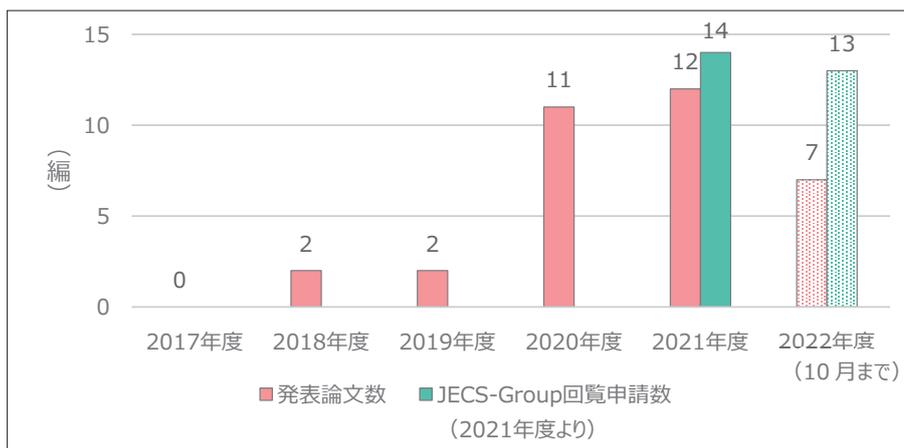


図8 動画撮影イベント参加募集チラシ



図9 関係者成果発表状況

令和4年10月21日時点



ニューズレターの発行

2022年秋・冬号(令和4年11月発行)

発行/エコチル調査編集ユニットセンター
No.35

エコチル★ふくしま

こぼちる通信

2022年秋・冬号

かほちゃん
ずかちを11月リリースを自りました!

のんごん
今年はお酒が絡むので可愛いワケワ、縁と作りました!

あいり
ワカチが手つきました!

個人情報保護のため
画像処理をして掲載しております

個人情報保護のため
画像処理をして掲載しております

個人情報保護のため
画像処理をして掲載しております

個人情報保護のため
画像処理をして掲載しております

個人情報保護のため
画像処理をして掲載しております

個人情報保護のため
画像処理をして掲載しております

お気に入りフォトコーナー

ウーちゃん
私のペットのマーチです。可愛くて大好きです。

まっくん
初めてのケーキ作り

ほりーめ
お雑煮と一緒におめかししました!

個人情報保護のため
画像処理をして掲載しております

個人情報保護のため
画像処理をして掲載しております

個人情報保護のため
画像処理をして掲載しております

個人情報保護のため
画像処理をして掲載しております

個人情報保護のため
画像処理をして掲載しております

個人情報保護のため
画像処理をして掲載しております

お気に入りフォトの募集は終了しました。

たくさんのお写真、ありがとうございます!また、なお好評につき、数のお家が決定いたしました!詳しくは、次号春号にてお知らせしますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

2023年エコチルカレンダーが完成しました!

身長・体重を書き込める「成長記録メモ」や、エコチル調査からのお知らせ、エコチルふくしまnanacoカードのご利用方法などを掲載しております!ぜひご活用ください!

お知らせ

親子で楽しめるYouTube動画 12月23日(金)~期間限定公開!

福島中央テレビ「コジレChu!」の大人気コーナー「フンケンまいてこまじいの表」エコチル特別版を、12月23日(金)18時~19時30分放送予定です。詳しくは同時刻のチラシをご覧ください。

予告動画を公開中です。右の二次元コードからぜひご覧ください!

本動画の配信は2022年12月23日~です。

こぼちる通信
2022年秋・冬号

遊んで!学んで!エコチル★キッズ! Vol.5

お話しを聞いた方

エコチル調査について聞いてみました!
続々!エコチル調査!~13才より先の調査~

エコチル調査について聞いてみました!
続々!エコチル調査!~13才より先の調査~

こんにちは先生!ぼくね、11月11日エコチル調査が13才までの調査だから、ぼくはあと2年だね。

先生!大切なお知らせおに?

え!そうなの?でも、どうして嬉しいことになったの?

調査はぼくが大人になるまで続くの?

両建てなの?ぼくも両建てなの?

そうなんだ!今日は、エコチル調査がもっと大事な調査だっていうことがわかったから、これからもがんばるね!

エコチル調査は、11才のお誕生日おめでとう!そして、いつも調査に協力してくれてありがとう!実はね、エコチル調査に参加してくれているみんなに大切なお知らせがあるんだ。

あのね、エコチル調査がなくなった時は、キミたちがお母さんのおなかにいる時から13才になるまでの調査というところで止まらせてきたんだけど、困っている人たちと一緒に考えて、13才より先の調査を続けることが決まったんだ!

キミやエコチル調査に参加してくれたみんなのおかげで、エコチル調査からいろいろなことがわかってきたんだ!そして、13才より先の調査を続けることで、中学生や高校生の年齢の調査とか、将来エコチルがなくなったときの子どものこととか、もっと多くのことがわかっていくと期待されているんだよ。

まずは13才から18才までの調査を計画しているよ。小学6年生になったら、キミやお母さんたちは13才より先の調査の内容を説明して、あらためて同意をいただいたりから調査を行うよ。

両建てというのは、調査に協力するかどうか考えて、「協力する」と決めることだよ。最初は、キミやお母さんたちから同意をいただくことになっていくんだ。キミからは、中学校を卒業した後に同意をお願いしますよ。その時は、協力してくれるとうれしいな。

エコチル調査は、将来の子どものたちや社会全体にとって役に立つことで、キミたち一人ひとりの協力が一番大事なんだ。キミやみんなの協力がこたえられるように先生たちもがんばるよ。これからはよろしくね。

子どもアンケートについて

子どもアンケートに答えない質問があったときは? 「答えない」、「意味が分からない」などの質問があったときは、質問番号に「X」をつけてね。答えられない質問に回答してくれるだけで大丈夫だよ。例: 質問1

子どもアンケートに答えてくれたエコチルキッズの皆さんには、ふくしまエコチルセンターよりお礼のハガキをお送りします。

無理のない範囲で、ご協力をお願いいたします。

発行/エコチル調査福島ユニットセンター No.36

エコチル★ふくしま

こぼちる通信

2023年春号

お気に入りフォトコーナー

ゆうちやんさん
アスを撮った、ほつたお餅が
個人情報保護のため
画像処理をして掲載しております

ゆいPさん
私の大切なお孫様！
じいじが涙で飲んでました
個人情報保護のため
画像処理をして掲載しております

ごころちゃんさん
自分で選んだランドセルが
お気に入り！毎日毎日学校を
たのしみながら通っています
個人情報保護のため
画像処理をして掲載しております

あゆちゃんさん
お孫子の笑顔で
毎日とても可愛がっています
個人情報保護のため
画像処理をして掲載しております

そーすけさん
お孫子の笑顔で
毎日とても可愛がっています
個人情報保護のため
画像処理をして掲載しております

アバンストラバシヨムさん
桜がきれい～
個人情報保護のため
画像処理をして掲載しております

次号より新たなフォトコーナー開始！詳しくは中面！

Topics

大切なお知らせ
★エコチル調査の継続が決まりました
ふれあい会のお知らせ
★まが玉フォトのご感想
2023年長き学期検査のご案内
★小学6年生学期検査が始まります

イベント報告
★第5回エコチル★ふくしま環境セミナーを開催しました
フォト集巻のお知らせ
★新しいテーマで発表！
おともぞう！みんなこと、こんなこと
★子どもの肥満について

Japan Eco & Child Study

おしえて先生！あんなこと、こんなこと

子どもの肥満について

福島県立医科大学 小児科科長 小野 敬史 先生

肥満とは？
A: 一般的に、正常と比較して体重や体脂肪が過剰に多いことを肥満といいますが、肥満を判定する際、成人ではBMIが用いられますが、小児では年齢によってBMIの正常値が異なるため、肥満度(=実体重÷標準体重×100%)が用いられています。小児では、この肥満度が20%以上を肥満としています。肥満には、基礎疾患のない単発性肥満と基礎疾患をもつ二次性肥満があり、小児では多くの場合単発性肥満です。

子どもの肥満の問題点は？
A: 小児の単発性肥満は、①肥満に伴う健康障害のない「肥満」、②内臓脂肪蓄積があり、健康障害を有する「肥満症」、③内臓脂肪蓄積に、脂質異常や高血圧、空腹時高血糖の心血管疾患危険因子を複数もつ「メタボリックシンドローム(MetS)」に分類されます。

この肥満判定とMetSが心臓病や脳卒中などの生活習慣病のリスクファクターとなるため、医療介入が必要となります。

Q: 治療法は？
A: 上記の①や②を予防するため、③のうらに食事療法や運動療法を推奨します。肥満は、不適切な食事内容や無意識の間の過剰な摂取ロリーが原因であることが多く、食事療法では「日本人の食事摂取基準」を参考に、年齢や身体活動レベルから算出したカロリーを目標として管理を行います。しかし、小児での食事制限は好ましくなく、成長に必要なカロリーや栄養素(糖質、蛋白質、脂質)をしっかり摂取した上で運動療法により消費カロリーを増やすことが重要です。例えば、床屋と給食のための具体的な食事内容について相談してはいかがでしょうか。また、親子や家族で一緒に運動したり、健康的な生活習慣を身につけることも大切です。いずれにしても短期間で肥満が改善は出ませんが、中・長期にわたって生活習慣病の発症予防を図ることが重要です。

お知らせ

結晶ご予約の方へ
この春、お引越しされるご予定のある方は、ユニットセンターまでご連絡をお願いいたします。

nanacoカードのお知らせ
2023年3月末にポイントの有効期限が切れてしまうのがあります！お早めに電子マネーに交換してください！

★エコチル★ふくしまnanacoカードにマイナポイントの結びけを行った場合も、給付・還元の引継ぎはできません。取扱いには十分ご注意ください。

2023年11月21日よりOnomacoのマイナポイント機能が変更になりました。詳しくは、エコチル★ふくしまnanacoカードをご覧ください。

みんなで～希望のカラ～を集めよう
フランクさんと参加者のみなさんのために、環境エコチル調査の成果を公開して、日本や海外の仲間と共有します。公式YouTubeチャンネルはこちら

質問票のご返送をお願いいたします
エコチル調査は、みなさんの協力で成り立っています。貴重なお時間をいただきましたが、ご返送をお願いいたします。小学生質問票は、**当紙巻末(3月5日発行)**にご返送をお願いします。

★調査の一般的な内容に関するお問い合わせ先
●エコチル調査福島ユニットセンターへお問い合わせ先 平日(土・日・祝日を除く) 9:00～17:00
●エコチル調査専用コールセンター TEL.0120-327-735 平日(土・日・祝日を除く) 9:00～17:00

●エコチル調査専用コールセンターへお問い合わせ先 平日(土・日・祝日を除く) 9:00～17:00
●福島本部事務所(東北・関東圏) ●郡山事務所(北中・南中・福島県内) TEL.024-547-1449 TEL.024-983-4780 FAX.024-547-1449 FAX.024-983-4780

環境省 国立環境研究所 福島県立医科大学

こぼちる通信 2023年春号

エコチル調査の13歳以降の継続が決まりました!!

エコチル調査では、これまで多くのみなさまにご協力いただいたおかげで、未来の子どもの健康に役立つ研究が進められました。令和4年までに300編以上の論文が世界に向けて発表され、国内では妊娠や子どもの健康に関するガイドラインづくりに役立っています。このことが、専門家・有識者により評価され、エコチル調査は13歳までの計画でしたが、13歳以降も調査を続けることが決まりました。これからは皆さんが成長する過程を見守りながら、調査を続けていきます。

みなさまにお願いしたいこと

エコチル調査13歳以降の調査について、お子さまが小学6年生になったら、調査説明書をお届けします。説明書の内容をご覧ください。これからは調査継続のご検討をお願いします。令和5年度は、2011(平成23)年度生まれのお子さまへ6月頃にお届け予定です。

一人でも多くの方に読んでいただくこと、より多くのことが分かります。どうぞよろしくお願いいたします。

詳しくは、国立環境研究所(センター)からお届けた13歳以降調査よりVol.19をご覧ください。

エコチル調査専用コールセンター 橋本 浩一先生

保護者の皆さまへ2023年度学期検査のご案内

小学6年生学期検査が始まります。

2023年(令和5年)7月より、小学6年生(2011年度生まれ)を対象とした学期検査が始まります。各会場日程表が入った資料は、6月頃送付する予定です。

プレゼントをご用意しております。

小学6年生学期検査は、2023年3月末に検査終了となります。ご協力いただきありがとうございます。

検査1	検査結果・会場
身体計測 身長、体重、体組成の計測 視神経 パソコンを用いた視力検査 発達検査 聴覚、集中力検査	検査当日に身体計測結果をお知らせします。 ※検査当日の検閲で行っています。(要予約)
検査2	検査結果・会場
問診 医師による問診 皮膚観察 顔、手足の一部 血液検査 希望者のみ 尿検査 尿蛋白の有無	※後日郵送での検査結果(アバンストラバシヨム)を届けていきます。 ※検査当日の検閲で行っています。 ※検査当日の検閲または医師面談で検査結果を説明いたします。(要予約)

第5回 エコチル★ふくしま環境セミナーを開催しました!

日 時: 2023年2月5日(日) 14:00～15:00(オンライン開催)

テーマ: 「親子で学ぶ 海洋ごみと海の生物について」

講師: 公益財団法人 ふくしま海洋科学館(フクシマ) 主任 若田 雅夫先生

環境問題となっている海洋ごみは海の生物に与える影響について、アマリオンふくしまの若田先生に講演いただきました。8組のご家族22名の参加があり、海洋ごみについて話し合ったり、クイズに挑戦したり、ご家族で学ぶ機会となりました。

セミナーのご感想

海の生き物がかわいいうらやま。 (お母さん)

3月頃、環境エコチル調査の調査結果を公開して、日本や海外の仲間と共有します。公式YouTubeチャンネルにて公開させていただきます。

アバンストラバシヨムさんへお礼を言わせてもらって、海の生き物も幸せになってほしいと思いました。 (お父さん)

～新しいテーマ発表! フォト募集～

★2023年度より、表紙を飾ってくれるフォトを大募集します!

新しいテーマは **OOに夢中!!** です。

みんなが、夢中になっていることを写真で教えてください。掲載された方には、**500円分**のフオカードをプレゼントします。なお、詳しい応募方法は、エコチル★ふくしまホームページをご覧ください。たくさんのご応募お待ちしております。

お申し込みの夢中

サッカーに夢中

お申し込みの夢中